

新型コロナウイルス感染予防対策 競技ガイドライン

- I 3密(密閉、密集、密接)にならない様、会話、発声、運動の際に十分な社会的距離 2mを保ち、自分だけでなく、相手への感染を防ぐため、マスクを着用する。会場入退場時の消毒励行。
- II 当日は必ず、競技参加者・審判員・役員参加者の名簿作成(住所、氏名、年齢、連絡先、朝の体温)し、主催者に提出する。
- 試合当日 37.5 度以上の発熱があった場合は、責任者に連絡し、参加を控える。
- 応援者もこれに準ずる。
- 1 両チームのベンチは通常より広く、間隔を取り、時にはベンチからはみ出しても良い。
 - 2 バット、ヘルメット、グローブ、打者用手袋、ロジンバックなどは各選手が使用し、可能な限り共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、その都度手指の消毒を行い使用する。
 - 3 ベンチ内には消毒液を設置する。
 - 4 攻守交代時、試合球はベンチに持ち帰る。
 - 5 打順表の最終監督確認(選手の体調確認)は、マスク着用しお互いの距離を保ち握手は行わない。
 - 6 試合開始前の整列・礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をする。試合終了時も同様とする。
 - 7 ベンチ内からの声援を控える。指示を出す場合は、対人距離に注意する。
 - 8 選手交代時等、通告、抗議は必ずマスク着用して行い、2m の間隔を保つ。
 - 9 球審は試合中、球審用マスク(マスク着用して)して審判するが、個人的意思又は大会規定等により《フェイスシールドガード》を球審用マスクに取付し、飛沫防止対策してあれば可とする。
(反射等、投球・プレイを妨げるものは避け、透明なものに限ること。)
 - 10 塁審は試合中マスク着用しなくても良いが、常に選手と 2m 以上の間隔を保つ様心掛ける。
審判員の判定は、大声を出さず、ジェスチャーを大きく選手に判るようにする。
 - 11 試合中、出場以外の全てのチーム構成員、審判員、記録員、スタッフはマスク着用する。
(大会本部内は、可能な限り互いの距離を 2m の間隔を保つ)
 - 12 熱中症対策に気を付けて、こまめに水分補給する。
 - 13 試合中に体調不良を感じたら無理せず直ぐに交代を申し出ること。

連絡先および健康状態申告のお願い

本申告書は、各種大会およびイベントなど事業において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本申告書に記入いただいた個人情報について、主催者は、厳正なる管理のもとに保管し、チーム関係者およびイベントなど事業参加者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場およびイベントなどの会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

<基本情報>

チーム名 <small>※チーム関係者のみ記載</small>		イベント名 <small>※参加の事業名を記載</small>	
フリガナ		年齢	
氏名		電話番号 <small>携帯または自宅</small>	
住所	〒		

<3日前の体温>

<2日前の体温>

<前日の体温>

<当日の体温>

日付	体温	日付	体温	日付	体温	日付	体温
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃

※各種大会およびイベントなど事業参加の際は、参加3日前からの体温を記載ください。

<大会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	

（各種大会およびイベントなどの参加者が未成年の場合）保護者 確認欄

保護者 氏名

電話番号

Eメールアドレス

確認日

西暦

年

月

日